医療体制を維持するために

土・日曜日、祝日や夜間に、急な発熱や激しい頭痛が起きた際、頼りになる存在が救急医療機関です。しかし、救急患者の増加や医療従事者の不足などの影響で、将来この救急医療機関が維持できなくなる可能性があります。

本当に必要なときに救急医療を受けられるよう、私たちにできることを考えてみましょう。

問合先　健康づくり推進課（4西3　であえーる岩見沢3階）☎25-5540

救急医療体制

市は、土・日曜日、祝日、夜間など、通常の医療機関が外来診療を行っていない時に、突発的な症状で応急処置が必要な人のため、岩見沢市医師会の協力により救急医療機関（休日当番医、夜間急病センター）を設置しています。

休日当番医

- 診療科目　内科、外科、小児科
- 診療時間　土曜日　午後1時から6時
  日曜日・祝日　午前9時から午後6時

※毎月の当番医は、広報いわみざわ折り込みのいきいきカレンダーまたは市ホームページで確認してください。

ID：2749

夜間急病センター（10西3）☎25-3000

- 診療日　12月31日から1月3日までを除く毎日
- 診療科目　内科、小児科
- 診療時間　午後6時から午前0時



救急医療の適正利用にご協力をお願いします



夜間急病センターは応急手当が中心です

夜間急病センターは、岩見沢市医師会の協力の下、夜間に急な病気になった方を対象とする初期救急（一次救急）医療機関です。応急手当が中心で、詳しい検査はできません。

内容	医療機関（通常の診療時間）	夜間急病センター
検査・処置	症状に応じた検査・処置ができる	詳しい検査はできず、応急処置が中心
診断	医師が詳しい診断・指導を行う	診断が確定しない場合がある
薬	症状の改善に必要な日数分を処方	平日の通常診療が始まるまでの日数分のみ処方

コンビニ受診はやめましょう

個人的な都合で休日や夜間に救急医療機関を利用する〝コンビニ受診〟が増えると、重症患者や入院患者への対応が遅れるおそれがあります。軽い症状の場合は市販薬などで様子を見て、できるだけ日中にかかりつけ医を受診しましょう。ただし、症状が急に悪化した場合や、緊急性が高いと感じる場合は、我慢せず救急医療機関を受診してください。

救急車は重篤患者のために

全国的に救急車の出動が増え、現場への到着も遅くなっています。また、搬送された人の約半数は入院の必要がない軽症です。本当に救急車が必要な人に、いち早く対応できるよう、救急車の適正な利用を心がけましょう。

救急車が必要か判断に迷ったときのために、必要な対応や受診手段の検索ができる全国版救急受診アプリ〝Q助〟を事前にダウンロードしておくと安心です。

